

公表

事業所における自己評価考察票

○事業所名	さくら草学園		
○保護者評価実施期間	令和7年10月14日		～ 令和7年 10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	令和7年10月14日		～ 令和7年 10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年10月14日		～ 令和7年 10月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者)	17園	(回答数) 13園
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達新事業のフォローグループを利用している利用児が訪問支援事業を利用しているケースが多く、小集団での活動の様子を知った上で訪問することができている。	フォローグループの様子を訪問園と共有し、訪問園の生活の中でできることを伝えている。	フォローグループ担任の訪問支援に同行する人数を増やし、お子さんの状況の把握をすとともに、訪問支援の実際の実施状況を知る職員を増やし、人材の育成につなげていく。
2	訪問後、訪問園とのカンファレンスの前に、訪問支援員と児童発達支援管理責任者で訪問時の様子の共有や、訪問園に伝えることなどを検討している。	課題を整理したり、対応の検討をしたりして、多角的な視点をお互いに学べている。	専門職を交えたカンファレンスを通して、多角的な支援の視点を学んでいく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	就学のタイミングで支援が途切れる。	法人として就学前を対象としていたため。	今後就学後の訪問支援を実施していく際、スムーズに対応できるように準備を進めていく。具体的には、相談支援員を中心に関係機関と連携し就学前の引継ぎを行い、学校との関係作りに努めていけると良いと考えている。
2			
3			

事業所名 さくら草学園（保育所等訪問支援）

公表日 令和8年 3月 1日

配付数 28

回収数 16

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	8	1	0	7		教材等を使用した際は、事前に、あるいは報告時にご説明いたします。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	16	0	0	0		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	16	0	0	0		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	16	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	16	0	0	0		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	0	0	0		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	16	0	0	0		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	0	0	1		・支援にあたっては5領域を含めた総合的な支援を提供させていただきます。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	0	0	0		
保護者 への 説明 等	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	14	0	0	2		・訪問を実施させていただくときには、訪問先施設の意向を大切にしながら、支援をさせていただきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	13	0	0	3		・学園では言語聴覚士と心理士による保護者向けの勉強会を実施しています。またさいたま市主催の研修会などの情報を廊下に掲示しています。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていますか。	16	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	0	0	1		・定期的に個別支援計画に伴う面談を実施させていただいています。必要に応じて随時の面談もお受けいたします。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	0	0	0		
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	0	0	0		
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	0	0	0			
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	16	0	0	0			

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	16	0	0	0		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	16	0	0	0		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12	1	0	3		・単独通園グループのお子さんを対象にXにて活動の様子などをお伝えしています。自己評価につきましては学園ホームページに掲載させていただいております。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	1		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	13	0	0	3		
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	0	0	2		
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	16	0	0	0		
	28	事業所の支援に満足していますか。	16	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・よく見てくれており、アドバイスも的確でとても助かっています。 ・いつもありがとうございます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見ありがとうございます。今後も訪問先との連携を深めていき、お子さんにとって充実した園生活となるように訪問支援を実施していきます。

事業所名		公表日					令和 8年 3月 1日
さくら草学園（保育所等訪問支援訪問先）		配付数 17			回収数 14		
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	14	0	0	・助言をいただき、保育に生かしています。 ・専門的な視点からの確かなアドバイスをいただけるのでとても参考になっています。 ・日頃気付くことができない点についての助言をもらえました。 ・対象のお子さんについて具体的にアドバイスをいただきました。 ・普段の遊びに取り入れやすいものを提案していただき、落ち着いて過ごせる時間が増えました。	ご意見ありがとうございます。今後も具体的に取り入れやすい助言、説明に努めてまいります。		
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	13	1	1	・子どもとの関係の中で接している保育者と理論での知識とのギャップがあることがある。 ・「どうしたら」と思っていたお子さん姿について専門的な見方で教えてもらえました。	ご意見ありがとうございます。園の先生方の思いや意見も大切にしながら、アドバイスができるように努めます。		
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	14	0	0	・時間に合わせて対応していただいています。 ・質問や不安なことを伝えると、理由を説明した上で後押しをしてくれるので納得でき励みになる。	ご意見ありがとうございます。頂いた質問に対して、適切なタイミングで適確な助言をさせていただけるようにしていきます。		
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	11	3	3	・保育の不安が解消されることが多いです。 ・助言を参考に対応を様々行っていますが、すぐに解消、軽減できない様子や事業のここの方が多いです。 ・子どもの今後の課題を共有でき、成長を知ることができました。	ご意見ありがとうございます。訪問先の先生方のお困りな点を今後も一緒に考えさせていただきたいと思えます。		
5 事業所からの支援に満足していますか。	13	1	1				
其他のご意見				ご意見を踏まえた対応			
<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換の面で学園のグループに空きがあることを知り、園児を紹介することができた。 ・毎回の確かなアドバイスや評価をいただけるので助かっている。 ・「気になる子」が増えている中、助言をいただいたことを参考に子どもの理解につながっています。 ・日と一緒に過ごしていると見落としてしまいがちに成長に気づいてくださり嬉しかったです。気持ちの整え方や遊びの中での関わり方についても丁寧に助言していただきました。 ・専門家のならではのお話を聞かせてくださりとても為になります。保護者も加え、三者でより良くお子さんの為になる保育をしていけるようこれからもアドバイスをいただけると嬉しいです。 ・質問や悩んでいることに対して丁寧に答えていただき、支援児への理解へとつながりました。助言いただいたことを参考に園でできる支援を続けていきたいと思えます。 ・電話でのカンファレンスでしたが、担任がもう1名いるため、できれば対面で行っていただけるとありがたいです。 ・普段接しているときは気付かないこと、子どもが今どういうことが難しいのか、どう手を差しのべてあげたらいいかを適切に説明いただきありがたいです。 ・いろいろな環境での子どもの様子を共有することができ、一緒に課題に向けて何ができるのかをお話できることに感謝しています。 				<p>ご意見ありがとうございます。訪問に何ったあと、訪問支援員及び児童発達支援管理責任者を交えた園内会議を行い、アセスメントについて支援員間で話し合ったうえで、園へのフィードバックを検討させていただくことが多いです。訪問後は、訪問先の施設の先生方とお子さんの情報を電話にて共有したり、気になっておられることや成長した点を一緒にお話させていただくカンファレンスを実施しています。その場で、先生方の必要とされていること、事業所が求められていることをお答えできるように努め、ご質問やご意見を出しやすいカンファレンスを実施していきたいと思えます。</p>			

事業所名		さくら草学園（保育所等訪問支援事業）					公表日	令和8年 3月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点		
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	3	0				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	0	3	利用児が多いため回数に限られてしまう。	利用児のニーズを的確に把握し、訪問頻度の調整を行い、適切な訪問回数の実現に繋げる。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	0				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0				
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0				
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	0				
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0				
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3	0				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3	0				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0				
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	0	3	行動観察によるアセスメントを実施している。	引き続き行動観察による適切なアセスメントを実施していく。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0				
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3	0				
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3	0					
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0					

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1	保健センターや小学校への引継ぎのための関係者会議がほとんど開かれていない。	引き続き地域部会や交流会に積極的に参加していく。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	3	学校と連携する機会がない。	今後小学校への訪問支援も実施していく予定があるため、その際は積極的に連携が図れるよう働きかけていく。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	0	出張療育カンファレンスを利用している、また、年に1回訪問支援員対象の研修に参加している。	引き続き専門性を高めるために、研修に参加したり専門職のアドバイスをもらう等の機会を作っていく。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	0		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	3	実務担当者会議で、実現が難しい旨を共有する必要があると思われる。	実務担当者会議で、どのような方法があるか話し合いアイデアを出し合う機会を設ける。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0		
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3	0		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3	0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	0	3	作成しているものの家族等には周知していない現状。園内に利用児が来園しない。	契約時作成していることを周知する。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	0		